No.91
2014.11/1

へきなん 議会だより

平成26年 9月市議会定例会

□審議された議案 ……2～4
□市政を問う･一般質問 ……5～13
□議会の窓 ……14

テーマ：「碧南の未来を担う子どもたち」～跳んで！はねて！元気ッス～（新川中学校）

平成25年度決算認定など
議案等21件と議員提出議案3件、陳情4件を審議

9月
市議会定例会
議　案

平成２６年９月市議会定例会は、９月４日から９月２６日まで、２３日間の会期で開会しました。会期中に同意２件、条例議案６件、補正予算議案３件、認定議案８件、報告案件２件、議員提出議案３件の合計２４件を審議しました。また、陳情４件を審議し、そのうち３件は採択としました。

議案等は、次のとおりです。

同意

●碧南市公平委員会委員の選任

平成26年９月13日をもって任期満了となる亀山裕一氏（沢渡町）を再び選任することに同意しました。任期は４年です。

●碧南市教育委員会委員の選任

平成26年９月30日をもって青山美奈子氏が任期満了となることに伴い、髙橋世利子氏（霞浦町）を後任として選任することに同意しました。任期は４年です。

条例の制定

●碧南市公共施設維持基金の設置、管理及び処分に関する条例

将来にわたり公共施設の円滑な維持保全を図ることで安定した市民サービスを提供するため、条例を制定するものです。

●碧南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めるため、条例を制定するものです。

●碧南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めるため、条例を制定するものです。

●碧南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定めるため、条例を制定するものです。

条例の改正

●碧南市母子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

法律の題名等の変更に伴い、条例の一部を改正するものです。

●碧南市精神障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

精神障害者保健福祉手帳の障害等級が１級・２級に該当する者の入院に係る医療費の助成方法を改め、受給者の利便性の向上を図るため、条例の一部を改正するものです。

補正予算

●平成26年度碧南市一般会計補正予算（第２号）

●平成26年度碧南市介護保険特別会計補正予算（第１号）

●平成26年度碧南市一般会計補正予算（第３号）

認定議案

●平成25年度碧南市一般会計・特別会計（５会計）歳入歳出決算及び企業会計（２会計）決算の合計８議案を認定しました。

報告案件

●平成25年度碧南市健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率

財政の健全化に関する比率を監査委員の審査に付し、その意見を付けて、本市財政は「健全である」との報告がありました。

●損害賠償に係る専決処分

議員提出議案

●碧南市議会基本条例
※条例に関する詳しい内容については、下をご覧ください。
●国の私学助成の増額と拡充に関する意見書
●愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

陳情結果

●定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情（不採択）
●国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情（採択）
●愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情（採択）
●私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情（採択）

● 平成26年10月1日から『碧南市議会基本条例』が施行されました ●

1. 制定の理由

水に囲まれた本市の歴史と文化を活かした夢と活力ある碧南市の創造に向け、私たち碧南市議会は、日本国憲法及び地方自治法に基づき、住民を代表する唯一の議事機関として市長との二元代表制を確立し、開かれた議会を目指し、市民の幸福と市政の発展のため、強い責任感を持って、市民の負託にこたえるよう全力で議会活動に取り組むことを決意します。

よって、ここに地方自治の本旨を自覚し、市議会及び市議会議員の責務と役割を明確にし、議会の最高規範となる碧南市議会基本条例を制定しました。

2. 内容

第１章　総則（第１条・第２条）
第２章　議会の活動原則（第3条～第6条）
第３章　議員の活動原則（第7条～第9条）
第４章　市民と議会との関係（第10条～第12条）
第５章　議会と市長等との関係（第13条～第17条）
第６章　議会の体制整備（第18条～第22条）
第７章　議員の政治倫理、身分及び待遇（第23条～第25条）
第８章　災害時の対応（第26条）
第９章　条例の検証及び見直し手続（第27条）

詳しい内容は、
市議会のホームページを
ご覧ください。
http://www.city.hekinan.aichi.jp/GIKAI/index.htm

3. パブリックコメントの内容（一部抜粋）※こちらもホームページからご覧いただけます。

Q　政務活動費の説明責任とあるが、現在どこを見れば内容が分かるか。今後、見える化で分かるようになるのか。
A　現在、情報公開条例に基づき公開しています。今後、見える化の内容を定める中で、この点をより分かりやすくなるようにしてまいります。

Q　政策討論会について、市民もその討論の様子をみることができますか。
A　政策討論会の開催方法などは、現在公開する方法も含め、慎重に協議しております。

パブリックコメントは、平成26年6月16日から7月15日まで実施し、合計7件・31項目ものご意見をいただきました。ありがとうございました。

4. 条例制定までの道のり

平成25年5月15日から平成26年9月1日までに、合計32回の特別委員会を開催しました。その他、基本条例視察研修として高浜市・知立市へ訪問しました。今後は、この議会基本条例を運用し、検証しながらより良いものにしてまいります。

▲起立全員による条例可決の様子

●9月市議会定例会に上程された議案等の審議結果●

議案等の内容		採決結果	新政会								みらい市民						共産党			新碧南			公明	
			石井	祢宜田	林田	永坂	新美	三島	宮地	沓名	鈴木	磯貝	杉浦	神谷	石川	倉内	山口	岡本	下島	鍔本	長田	辻	加藤	大竹
同意	碧南市公平委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	議長のため、採決には加わらず。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	碧南市教育委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	碧南市公共施設維持基金の設置、管理及び処分に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	碧南市特定教育･保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	碧南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	碧南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	碧南市母子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	碧南市精神障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	平成26年度碧南市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	平成26年度碧南市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度碧南市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算の認定	平成25年度碧南市一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	平成25年度碧南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	平成25年度碧南市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	平成25年度碧南市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成25年度碧南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	平成25年度碧南市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	平成25年度碧南市水道事業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	平成25年度碧南市病院事業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
議員提出	碧南市議会基本条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国の私学助成の増額と拡充に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成、×…反対

市政を問う

9月市議会定例会 一般質問

9月定例会では、9月4日、5日、8日の3日間、17人の議員が一般質問を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

質問・答弁の詳細は、碧南市公式ウェブサイト内の市議会のページ「市議会の映像」、「市議会会議録」又は、市民図書館に配布する「9月市議会定例会会議録」（11月下旬発行予定）でご覧ください。

新政会
永坂　直義

災害時要援護者について

問　災害時要援護者の管理は。

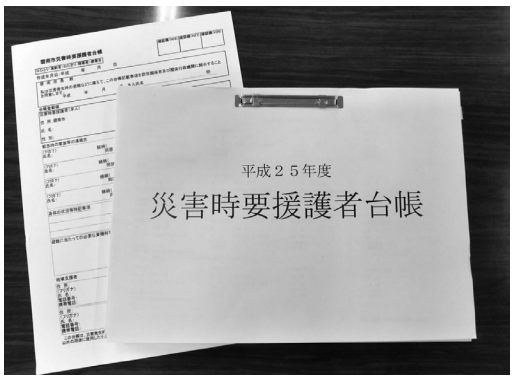
答　要援護者台帳を使用。高齢者は高齢介護課で、障害者は福祉課で、紙台帳と磁気データの両方で管理保管しており、毎年6月、民生委員に委託する調査結果をもって更新している。

問　災害時要援護者台帳の活用方法は。

答　民生委員や自主防災会長に情報提供し、災害時に迅速に対応してもらえるようにしている。

問　災害時要援護者台帳の認知度が低いと思うが、対策は。

答　自主防災会長には、毎年4月に開催する自主防災会連絡協議会において、要援護者台帳を配布すると伴に、趣旨説明をしている。毎年実施する防災訓練を通じて、改めて周知する。



▲災害時用援護者台帳

地域まちづくり組織の設置に向けた取組について

問　日進地区で進めてきたように、他地区においても、地域まちづくり組織の設置に向けた取組の予定は。

答　新たなモデル地区の指定の予定は無い。

問　地域まちづくり組織の設置に向けた支援は。

答　各公民館長を「地域連携推進員」として、協働のまちづくりの必要性を伝えてもらう。また、まちづくりへの理解を深めるための話し合いの場の開催や、地域で実際にまちづくり活動を担っていただける人材の掘り起こしを期待している。

新しい碧南をつくる会
辻　正三

子宮頸がん（HPV）ワクチン副反応について

問 **碧南市から厚労省に副反応報告した方の現在の症状は。**

答 3名の内1名は倦怠感、頭痛手足の痛みなどで一学期に数日しか学校に通えず、寝たり起きたりの生活。他の2名は学校には通っているが、歩行困難で杖使用や手の震えなどがあり、いずれも発症当時から明らかな改善は見られない。

問 **昨年度新規接種者84名を含め延べ170名が接種しているが、新たな副反応報告や相談は。**

答 報告や相談は無い。

問 **横浜市ではワクチンと副反応の因果関係が明らかでないとしつつ、現に症状を有する実態に即し、市独自で医療費の支援をしているが、碧南でも行ってはどうか。**

答 救済は国のやることで、自治体の対応で格差をつけるべきではない。支援については研究する。

問 **患者さんは、いずれも市の判断で接種補助を決め、積極的に勧めた任意接種者であるが、それを決めた理由と副反応に対する検討は。**

答 国から半額助成があり、実施した。副反応のリスクは、国は低いとしていた。

問 **市のアンケートに他にも副反応と思われる記述が有ったが対応はしたのか。**

答 電話などで対応した。

▶副反応の痛みに耐えながらプロのバイオリニストを目指している伊藤維さん（横浜18歳）「被害者を増やさないで」と訴えている。

新政会
新美　交陽

人口減少にどう取り組むか

問 **将来の人口減少が予測されているが30年後市の人口は。**

答 市では試算は行っていないが平成52年には6万5千人と見込まれる。

問 **出生数が減少すると市はどうなるか。**

答 経済規模の縮小、社会保障負担の増大になる。地域コミュニティの存続も困難になる。

問 **結婚から子育て支援の一貫した施策が必要ではないか。**

答 結婚については行っていないが、子育て支援施設が充実している。これからも若い女性が住みたい街になるよう一貫した施策に努めていきたい。

問 **新たな人材養成、資質の向上が必要ではないか。**

答 雇用に関する情報収集、企業の従業員の能力、資質向上の取り組みをしている。

問 **新たな雇用の創出は。**

答 企業誘致する土地が無い。市外への企業流出を防ぐ施策を実施し、又雇用の拡大を計る。

災害時における減災について

問 **昭和56年以前の建物の耐震化は。**

答 促進計画を見直し中。住宅耐震化率を平成32年までに95％を目標とする。

問 **狭あい道路の対策について。**

答 7月より事前確認制度を設け後退用地の確保に努めている。

問 **効果の上る施策はあるか。**

答 測量、分筆登記や工作物撤去費用の補助を制度化の予定。

▲狭あい道路

新しい碧南をつくる会
鍔本　達朗

公共施設等の景観について

問　標高記載看板の設置についての基準は。

答　看板の大きさ、デザイン、設置位置については、国が定めた全国統一の設置方針を受け、愛知県沿岸市町村等津波対策推進協議会がガイドラインを示した。それを参考に、市内の電柱452カ所、公共施設88カ所に設置した。

問　県の補助金を得て設置しているが、条件はあるのか。

答　設置場所などの指定はないが、市民の防災意識向上と災害時における効率的な避難誘導を目的とし、電柱及び公共施設で多くの人の目に止まるよう来客用玄関付近に設置した。

問　設置に当たって、公共施設特に文化施設においては、その施設の目的・特徴を踏まえて、その景観に配慮する視点はなかったのか。

答　特段の配慮はなかった。

問　特に芸文ホールの設置場所については、著しく芸文ホールの景観と品位を損なっている。現在の場所である必要はないので、設置目的を踏まえて他の場所に移しても良いのではないか。

答　変更は考えていない。

問　公共施設の敷地内での景観、清掃、植栽や剪定、花壇等の草取りなど、美観の保持は重要である。ものづくりセンターでは、草が伸び放題になっているが。

答　早速草取りをした。景観維持に配慮し草取り等を行う。

▲芸文ホール正面玄関

新政会
三島　博

防災ミーティングの開催について

問　市内に土砂災害危険箇所はあるか。あるとしたらどの当たりか。又警戒区域の指定は。

答　県が土砂災害防止法に基づき10箇所、人家57戸を危険箇所及び警戒区域に指定。場所は旭町1丁目・浅間町1丁目・堀方町1丁目・二本木町1丁目など。

問　どんな対策をしているか。

答　ハード面は所有者で。市では地元で説明会を開催し、情報収集方法や伝達手段・避難所情報、建築物の構造規制等を説明。

問　地区ごとに災害ミーティングを開催したらどうか。

答　地区の自主防災会などと協議し地元密着で前向きに取組む。

ふるさと応援寄附金について

問　仕組みと当市の特徴は。

答　個人が出身地や応援したい自治体に寄附すると2000円を超えた分について住民税等が控除される制度。市では、①1万円で地元特産品1個贈呈②何度でも申し込み可能③市民も対象④贈呈品を贈答用として利用可能、自分以外の送付先住所を指定できる。⑤2つの高額プランを用意。Ⓐ25万円以上で幻の潮かぶり米毎月10kgと贈呈品を12ヵ月。Ⓑ100万円以上で明石公園と水族館1日貸し、ホテルランチ80名分。

問　9月1日から3日までの実績は。

答　267件、772万円。北海道から沖縄までの人からも。100万円も1件あり。

▶出足好調なふるさと応援寄附金

日本共産党
碧南市会議員団
山口　春美

平和行政について

問 **安倍内閣の集団的自衛権行使容認の閣議決定に対し、戦争する国にするな、憲法守れと行動発信すべきでは。**

答 国の存立のため切れ目ない安全保障の策と考える。

問 **広島市長の呼びかけた、平和首長会議に全国93・7％の市長が加盟。西三河で未加盟は碧南・刈谷・高浜・西尾市だけ。平和のために加盟を。非核兵器宣言自治体も国内で88・3％が実施している。碧南市も核兵器廃絶のため宣言を。**

答 平和会議は検討している。非核宣言は、他の平和行政を行っておりやらない。

介護保険のサービス拡充を

問 **来年4月からの制度改悪で、今受けているサービスが保たれるか不安が広がっている。**

答 平成27・28年は、現行通り。29年から移行へ受皿をつくる。

問 **介護基金が2億円あり、国も非課税世帯3ランクの保険料軽減に財政負担をする。介護保険料引上げをせず一宮市のように非課税世帯全員に半減措置を。**

答 減免措置は現行どおり。

法人税増収分で子育て支援を

問 **大企業の法人税割収入が6年ぶりに復活。18億円の増額補正予算となった。県下で唯一出生率が減となった碧南市。高校生までの医療費無料化など思い切った子育て支援の実施を。**

答 今後、子育て支援に取り組む。医療費無料化はやらない。

▶非核宣言をする半田市

日本共産党
碧南市会議員団
岡本　守正

中小企業振興基本条例と小規模企業振興基本法について

問 **市内の地域経済の多くを占めており、雇用と仕事を生み出すのに繋がる。中小企業振興基本条例の創設をすべきである。**

答 市内企業の皆様から機運の盛り上がりを期待する。

問 **国は小規模企業振興基本法を制定した。市は、小規模企業にどんな支援を行っているのか。**

答 償却資産新規取得補助金、信用保証料補助金、利子補給金、退職金共済制度加入促進補助金、健康診断補助等を設けている。

問 **地域経済の活性化に繋がる住宅リフォーム助成制度を。**

答 補助制度は設けない。

公契約制度について

問 **公契約制度は、公共事業発注の際に、労働者の給与などや下請け業者不利にならないために公契約制度の制定を。**

答 今は制定しない。

脱原発で、自然エネルギーの利活用の拡大と節電を。

問 **太陽熱から水をお湯に変えられる太陽熱温水器は県内でも補助制度の拡大が進んでいる。碧南市も補助制度の創設を。**

答 補助制度は設けない。

問 **生ごみ処理機での堆肥化で市内公立保育園と社会福祉協議会保育園の状況は。**

答 公立保育園は生ごみ処理機で堆肥化している。

問 **社会福祉保育園の生ごみも堆肥化していくべきだ。**

答 福祉協議会で判断される。

▲太陽熱温水器

新政会
祢宜田　拓治

あおいパークについて

問 **25年度の来園者数、売上は。**

答 来園者数、産直市売上とも、前年対比約3％の減となった。

問 **活性化組合のもぎとりは。**

答 約14％の増と盛況であった。

問 **産直売場の拡張、故障中の各コーナーの修繕、シャワートイレ化、東屋（ガゼボ）設置を。**

答 建物配置から拡張は難しい。新たな映像システムを検討中。シャワートイレは設置を考える。東屋は建設中の庇の状況を見て検討したい。

問 **予算化済の雨漏り修繕は。**

答 現在準備中で11月完了予定。

問 **アクセス道路の整備は。**

答 市道江口中田線の整備のため、今回補正をお願いしている。測量等を行い、来年度に用地購入と工事施工を予定している。

BCP（事業継続計画）制定を

問 **国等の支援体制、講演会は。**

答 企業の存続、早期復旧のため、国、県共にガイドライン等を示し、市はエリア毎の地域連携、企業等の講演会を開催して計画策定の啓発をしている。

市民映画「碧南物語」について

問 **近隣市のPR映画制作は。**

答 高浜市、西尾市、安城市で制作されている。

問 **世界に発信する市のPRと地域の連携・一体化のために「碧南物語」を制作しては。**

答 現時点では考えていない。PR手段の一つとして研究する。市民から自主制作の提案があればできる範囲で協力したい。

▲エリアBCPの制定を目差すセミナー

新政会
林田　要

新教育委員会制度を問う

問 **来年度から施行される新制度について、法改正の概要、教育長の役割の違い、新たに設けられる教育総合会議の概要、いじめなど緊急的な課題に対する対応の変化について説明を求む。**

答 法改正によって、教育委員長と教育長を一体化し、教育行政の責任者の明確化が図られる。教育総合会議は民意を反映した教育行政を進めて行くための協議・調整がなされる。緊急的課題に対しては、法改正により制度的にも整理され、より迅速に対応できるものと考えられる。

次世代に向けた市政運営を問う

問 **総務省から公共施設等総合管理計画の策定が要請され、碧南市においても公共施設の在り方について、維持・運営の手法が問われている。次世代に負担を回さないために、新しく造ることから、使い切る仕組みを考え、子育て世代の目線から、付加価値のある公共施設でなければならない。スポーツ文化振興のため、グラウンド、公園、園庭の芝生化などで、安全と快適性を考慮に加え、利用率の向上を図るべきではないだろうか。**

答 公共施設の在り方を検討する中で、「新しく造ること」から「賢く使う視点」を念頭に、統廃合を含めた使いきる仕組みを協議していきたい。

▲子育てしたい碧南市となるため公共施設に付加価値を求める

新政会
石井　拓

へきなん障害者ハーモニープランについて

問　平成32年度この計画終了時点で障害者を取り巻く生活環境はどう変化、好転しているか。

答　障害者本人が地域社会の中で自立した生活を送ることができるよう現状よりも決め細やかな相談体制や生活支援サービスの充実を一層図りたい。

問　家族負担の軽減はどうか。

答　介護疲れを癒すサービスや家族間交流の場の提供を図っていく。将来への安心に繋がるよう市内に成年後見センターの設置を検討したい。

問　社会の理解と参加についてはどうか。障害者雇用促進法改正など雇用意識は変わるか。

答　障害者の社会参加が促進されるよう人権教育や地域住民の協力、ボランティアの確保が必要と考える。雇用する企業側も法改正などで意識、理解が変わると考える。障害者が作る製品やサービスのＰＲをもっと図り、市民の購買意欲を喚起させたい。

問　障害者就労の状況はどうか。

答　福祉施設の増加に伴い就労継続支援は充実してきた。就職に繋がる就労移行支援については企業との連携、インターンシップなどの機会を充実させ、雇用拡大に繋がる施策を検討する。

問　今後の制度改正点はどうか。

答　入院中の精神障害者の地域生活移行が目標値化される。地域生活支援拠点の整備に伴い支援体制の充実をさらに図りたい。

▲就労センターオアシス碧南（天神町）にて

みらい市民クラブ
杉浦　哲也

中心市街地の活性化について

問　中心市街地の区域は。

答　都市計画では、中央駅周辺区域が都市拠点であり、中心核として位置づけている。

問　中心市街地区域の課題は。

答　駅周辺の商業地域の活性化、商業施設等の撤退及び郊外への拡散の抑制が課題である。

問　活性化の必要性は。

答　さらなる活性化は必要であると認識しているが、ただちに、再整備事業を実施することは、非常に困難であると考えている。

問　商業振興による活性化は。

答　商店街は、まちの顔であり、振興及び活性化を図ることが、中心市街地活性化の一翼を担う。

問　市の拠点であり、まちの顔でもある中心市街地の活性化を今後どう進めていくのか。

答　時代や地域のニーズと気運、民間投資等に注視し、国や自治体の取り組み等、長期的視野にたち調査研究を行って行く。

生活保護について

問　生活保護件数の見通しは。

答　景気の回復に伴い、今後は、上昇傾向から横ばいに転じるものと考えている。

問　保護費の額は一律なのか。

答　生活保護の支給金額は個々の生活状況によって違う。

くるくるバスについて

問　バス車両の管理を市でなく委託事業者に任せている理由は。

答　請負契約としては、運転業務と車両管理全般を受託事務の範囲と定める必要がある。

▲活性化が望まれる中心市街地

みらい市民クラブ
磯貝　幸雄

スポーツ振興計画10年の総括

問　障害者スポーツの取り組みは。

答　３年前よりグラウンドゴルフ大会を開催している。

問　障害者の市民大会は大きな意義があります。今ある種目に障害者の部を設けるか、出来そうな種目を設けてはどうか。

答　障害者関係団体、体育協会と協議する。

問　スポーツ少年団の安全対策として、ＡＥＤ使用方法、設置場所は明確か。又、設置されていない場所の対応は。

答　ＡＥＤの設置場所、使用については説明は行っている。設置していない場所の対応はスポーツ課で２台貸出している。

問　南部総合型スポーツクラブの事務所は、分かりづらく、利便性が悪い。臨海体育館内に移動してはどうか。

答　環境改善を検討する。

問　少年、少女の夢と希望の援助に、東京オリンピック出場有望選手奨励事業を新設してはどうか。

答　現在、市長表敬訪問、奨励費で選手を応援している。

問　臨海体育館駐車場の駐車スペースが狭いが、安全対策のため拡張すべきでは。

答　今年度で対応する。

問　今年度よりスタートした少年スポーツ海外交流事業は海外に目を向けた碧南市の人づくり事業だと評価する。今年度はどのような内容ですか。

答　８月にサッカーの中学生が14人、引率者４人の18名が韓国ソウルに３泊４日で交流をした。

▲少年スポーツ海外交流事業（ソウル）

みらい市民クラブ
鈴木　みのり

入札制度について

問　総合評価を取り入れた入札と一般競争入札の概要及び最低制限価格の其々の設定方法は。

答　総合評価は価格と技術力・現場調整力等を数値化して落札決定する。最低制限価格は予定価格に率を乗じて算出する。

問　平成23年度に実施された、し尿処理施設の最低制限価格（税抜）はいくらだったか。

答　８億６，２９６万円。

問　では、その時の落札価格は。

答　８億６，２９６万円。

問　９月９日に実施される日本下水道事業団の入札方法は。

答　碧南市の中田川ポンプ場は制限付き一般競争入札、その他の市のポンプ場は総合評価方式一般競争入札である。

問　同日実施される、清須市・常滑市の規模は碧南市より小さいが、総合評価を入札に取り入れているが、どうして当市は、あえて一般競争入札にされたのか。

答　入札方法は、同種工事の実績、経験等の資格制限を設けることによって、現場調整が少ない機械電気工事に関しては、総合評価方式とする必要がないと判断し、碧南市が日本下水道事業団に意見を付し決定した。

問　中田川ポンプ場のポンプ設置位置が低いように感じるが、大丈夫か。

答　高浜川の堤防高が３ｍで、機械電気設備はそれ以上の高さに設置する。

▲一般競争入札で行われる中田川ポンプ場の現場

新しい碧南をつくる会
長田　知久

財政再スタート宣言の平成25年度の取り組みについて

問　全体の進捗及び総括は。

答　４億８千万円余の収支改善、経常収支比率の４ポイント改善、財政調整基金約２億１千万円増の26億７千万円余を確保した。

問　税収に対応できる歳出構造とは。

答　下限値で１５５億円、経常収支比率90％以下ととらえている。

問　H27年度予算への反映は。

答　目標設定はしないが、税収の状況をみて優先順位があるので市民が安心できる市政運営をしていく。経常的支出については慎重に行う。

防災対策（土砂災害危険個所）について

問　10カ所指定されているが、すべてか。

答　土砂災害警戒区域10カ所57戸、その内土砂災害特別警戒区域として8カ所1戸を指定している。

問　想定される危険は。

答　全てがけ崩れである。

問　平時での情報発信は。

答　ハザードマップに記載。

問　崖下に道路がある。看板等で区域外の方への啓発を。

答　今後の検討課題とする。

問　避難基準は。

答　気象台や愛知県など各関係機関が発表する土砂災害警戒情報等の情報や、市職員等によるパトロールの情報を基に、避難勧告などを発表する。

▲土砂災害警戒区域

日本共産党
碧南市会議員団
下島　良一

南海トラフ地震想定を踏まえた防災対策について

問　前浜町の一時避難所は、前浜集落センターの屋上に２２９人収容できる計画。前浜町の人口は、６３８人。残り４００人の避難場所は。

答　トヨタ塩浜寮を避難所に指定している。

問　前浜集落センター屋上への階段は狭い、避難階段新設を。

答　検討したい。

問　横断歩道橋型避難タワーを前浜信号付近に建設を。

答　考えていない。

問　伊勢町公園は海抜４ｍまで嵩上げし安全第一の命山避難公園として整備を。

答　津波の浸水は1.5ｍの想定であり考慮しての計画にしたい。

問　権現公園は３２００㎡の面積がある。安全第一を考えて命山避難施設の建設を。

答　一部は蜆川堤防高に計画。

問　各町内会に防災推進委員をおき地域力を高める方針を。

答　自主防災会への補助金を増額して防災マップの作成などの側面からも支援をしていく。

問　臨海公園の賑わいを大浜地区商店街に呼び込むため街並マップ大看板を公園トイレの壁に設置しQRコードの掲示を。

答　今後検討をしていきたい。

問　土・日限定で寺町レトロバスや自転車タクシーの運行を。

答　町の賑わいは検討した。

問　川口町の道路拡幅は、ハウスの移転補償も同時に行って。

答　地権者と相談して決める。

▲横断歩道橋型避難タワー（静岡県吉田町）

公明党
加藤　厚雄

狭あい道路に係る後退用地に関する要綱について

問 **今年の7月1日に施行された、この要綱の目的及び概要は。**

答 狭あい道路沿いで建築行為等が行われる機会に道路後退・後退用地についての周知を目的とし、概要は建築確認申請提出前に後退用地に関する事前協議を提出し、後退用地部分への建築行為をしない事、道路中心線について確認することである。

問 **後退用地の維持管理は。**

答 「道路寄附採納要綱」により、後退用地部分の寄附を受けた用地及び市が舗装等を整備した用地は市が管理する。

問 **今後の課題は。**

答 後退用地の確保促進である。

道路寄附採納要綱について

問 **狭あい道路の後退部分を寄附しやすくする為に要綱を改正すべきではないか。**

答 要綱改正としては、寄附に係る自己負担を減らし、後退用地の取得促進が図れるよう測量費、工作物撤去費に対する補助制度を盛り込む予定である。

地区防災計画ガイドライン

問 **今年の3月に内閣府から地区防災計画ガイドラインが公表されたが、市の取り組みは。**

答 地区防災計画は、地区居住者により自発的に行われる防災活動計画であり、計画を市に提案できる。市防災会議が防災計画に必要があるか否かを判断し、必要があると判断した場合は防災計画に盛り込む。

▲地区防災計画ガイドライン

公明党
大竹　敦子

AEDのコンビニ設置について

問 **市内に100台以上のAEDがある。夜間を含め、介護施設、企業などに広く市民への貸し出しをお願いしてはどうか。**

答 検討の余地がある。地域貢献事業としてお願いしていく。

問 **夜間、休日など24時間利用可能なAEDは市役所、警察署、消防署のAEDのみである。特に事故や高齢者の利用は夜間に多い。市民に広く周知され、24時間開いているコンビニに設置するべきでは。**

答 費用対効果から考えはない。

公園の防球ネット設置について

問 **権現北、池下、照光公園やネットのある三宅、踏分公園でも、家の方にボールが飛んでくると苦情があり、被害を受けた方もいる。対策として7m以上の防球ネットの設置が必要では。**

答 対策として状況をよく把握し、マナー喚起や注意喚起の看板の設置、各学校へ注意文書を配布する。今後ボールの飛来が予測される公園にはネットの設置、植栽など適した対策を取る。

水害対策について

問 **幹線水路の整備やポンプ場の整備が進められ、被害が随分減少したが、ゲリラ豪雨など、まだ水害の被害の恐れのある場所が多くある。その対策は。**

答 浸水被害が想定される地域の地形を電子化し、排水、浸水状況を把握。その結果を踏まえ、排水路による整備、調整施設や貯留施設の整備を進めていく。

▲豪雨による水害現場

議会の窓

愛知県・碧南市 津波・地震防災訓練に参加しました。

◎目的

大規模地震及びそれに伴う大津波を想定し、無線などで住民に避難を呼びかけ高台や避難所への避難訓練などを行うことによって、実際に津波が発生した際に迅速な行動ができるよう意識付けを行う目的で実施されました。

◎訓練実施概要

平成26年8月31日
午前8時30分～12時
メイン会場
玉津グラウンド
サブ会場
西端小学校
その他
碧南高校、新川小学校など

◎主な訓練項目

▼緊急地震速報のデモンストレーション
▼シェイクアウト
▼地震体験車（なまず号）による地震体験
▼避難所における歯科口腔保健活動（口腔ケア）
▼倒壊家屋からの救出

「地域防災力の向上を目差して」

総務委員会委員長　祢宜田 拓治

8月31日(日)に行われました「愛知県・碧南市津波・地震防災訓練」では、新川全地区の防災訓練に参加しました。千福区民館に集合して「シェイクアウト訓練」「大丈夫ですタオル訓練」を参加者全員で行い、その後、区役さんの引率で新川小学校へ避難訓練に向かいました。

新小では、新装となった本館の屋上への避難訓練、可搬ポンプの試運転と放水訓練、バケツリレーでの消化訓練、消火器での消化訓練、「稲むらの火」の紙芝居、地震体験車での東日本大震災の地震体験などを各地区のローテーションで訓練を行いました。

こうした地道な訓練を毎年、区民総出で行うことによって、地域の防災力を高めたいですね。市内各地区で毎年行いましょう。

▲開会式の様子

▲シェイクアウト訓練

議会映像のインターネット配信

碧南市議会では、本会議全日程の映像配信を行っています。

【視聴方法】

碧南市公式ホームページ内の「市議会の映像」から視聴できます。

または、「碧南市議会インターネット議会配信」と検索してください。

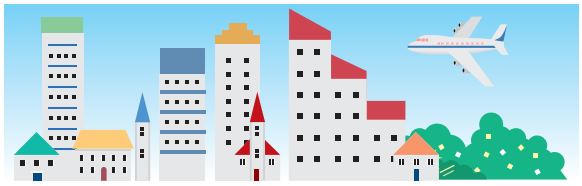
なお、キャッチネットワークでの放映日は、これまでと同じ、一般質問・総括質疑の様子のみとなっております。

一般質問の様子は、「碧南市議会ホームページ内の議会の映像」又は、「キャッチネットワーク(CSデジタル106ch)」で次の日時に視聴できます。

◉12月16日放映 (12月4日分)
◉12月18日放映 (12月5日分)
◉12月19日放映 (12月8日分)
※いずれも午後6時から予定

12月市議会定例会の予定

11月21日(金)	請願・陳情提出締切
12月4日(木)	本会議第1日(一般質問)
5日(金)	本会議第2日(一般質問)
8日(月)	本会議第3日(一般質問)
9日(火)	本会議第4日(議案上程等)
	予算審査特別委員会
10日(水)	総務委員会
11日(木)	福祉文教委員会
12日(金)	経済建設委員会
17日(水)	予算審査特別委員会
19日(金)	本会議第5日



12月市議会定例会 12月4日(木)開会予定

12月市議会定例会の本会議第1日は、12月4日(木)午前10時に開会します。

発行／碧南市議会　碧南市松本町28番地　TEL.0566-41-3311 FAX.0566-41-9900
ホームページ　http://www.city.hekinan.aichi.jp/

VEGETABLE OIL INK